

連合2015平和行動がスタート

平和行動in沖縄に連合長崎から27名が参加



沖縄の「慰霊の日」である6月23日(火)から25日(木)の3日間「連合2015平和沖縄集會」が開催され、連合長崎からは森会長を団長に総勢27名が参加しました。

1日目は那覇市民会館において2015平和オキナワ集會が行われ、戦時中の沖縄戦の体験談が収録されたDVDの上映後、連合の平和4行動が行われている沖縄、広島、長崎、北海道のそれぞれの青年委員会の代表が『これからの平和運動と次世代への継承を考える』と題してパネルディスカッションを行いました。連合長崎からは青年委員会を代表して朝長事務局長が登壇し、長崎でどのように戦争・原爆の実態について継承されているかといった地元の取り組みや、平和を発信するために青年委員会としてどのような取り組みを行っているか、を報告しました。いかにして次世代に戦争の恐ろしさ、悲惨さを継承していくか、改めて考えさせられるパネルディスカッションでした。



その後、開催された平和式典では、今後の行動を通して戦争の悲惨さと平和の尊さなどを学び、語り部の思いをしっかりと受け継ぎ、これからも戦争のない平和な社会を守っていこうという平和アピールが採択されました。

2日目は、「旧日本海軍司令部壕」「ひめゆりの塔」など大戦時、唯一地上戦が行われた沖縄戦の戦跡を辿るフィールドワークが行われました。ひめゆりの塔の資料館では、亡くなった生徒と教師全員の写真が飾られ、また生存者による証言文も見ることができ、沖縄戦の悲惨さを改めて痛感しました。嘉数高台公園からは普天間基地を近くに見ることができ、米軍機やヘリの離発着が民家近くで行われているのを見て、その様子がいかに危険かを感じることができました。2日目の最後には県庁前県民広場において『「在日米軍基地の整理・縮小」「日米地位協定の抜本的見直し」を求める集會』が開催され、その後国際通りを牧志公園までデモ行進を行い、基地問題、安倍政権の暴走反対を参加者全員で訴えました。

3日目には、普天間基地の移設が計画されている辺野古を見学しました。海岸には移設反対の旗等が掲げてあり、美しい海を守りたいという沖縄の人たちの熱い思いが込められていました。

この沖縄から連合の平和行動はスタートしますが、広島・長崎・根室へと引継ぎ、「平和の大切さ・尊さ」の思いをたくさんの人々に伝えていきましょう。

連合長崎2015年「政策・制度学習会」を開催!

～「働くことを軸とする安心社会」に向けて、政策実現に取り組もう～



連合長崎政策委員会では、6月27日(土)に「政策・制度学習会」を開催し、各構成組織、地協・ブロック、長崎県議会「改革21」から60名の参加がありました。

はじめに、連合長崎副会長の田端政策委員会委員長から、「政策制度は連合にとって1丁目1番地である。地域の皆様からも理解をされる政策制度を作り上げ、各地協でも協力議員と連携を取りながら進めたい」との挨拶がありました。

その後、連合本部総合政策局の竹詰局長から、「2016年度 連合の重点政策」「地域創生の取り組み」について講演がありました。

「2016年度 連合の重点政策」は、連合が2015年7月より向こう2年間に取り組むべき政策を取りまとめた「2016～2017年度 政策・制度要求と提言」で掲げた政策課題のうち、この1年間で「実現を目指す重要度が高いもの」あるいは「早期の実現は難しいが重要度合いが非常に高く、重点的に取り組みを進める必要があるもの」を抽出したものです。竹詰局長からは、最重点政策である7項目について説明いただきました。

また、「地方創生の取り組み」としては、2014年11月に施行された「まち・ひと・しごと創生法」に基づき都道府県・市町村が「地方版総合戦略」を策定することになっていますが、「連合として各地域で積極的に政策提言してほしい」と訴えました。

講演に引き続き、「連合長崎 2015年度政策・制度要求(案)について」として、連合長崎が政策の実現

に向けて長崎県に対して要求する「要求項目(案)」の現在の取りまとめ状況について、連合長崎の芳川副事務局長より説明しました。「要求項目(案)」については、6つの部会(「交通・運輸」「製造・商業・サービス」「官公」「金属」「通信・エネルギー」「地域」)を設置し、これまで議論を深めてきました。今後、学習会での意見を踏まえて、「連合長崎第3回政策委員会」を経て連合長崎第10回執行委員会にて確認をし、長崎県に対して要求書を提出することとしています。

連合長崎は、引き続き「働くことを軸とする安心社会」、「私たちが望む政策・制度」の実現に向け、各種取り組みを進めてまいります。



政策委員会
田端委員長



連合本部
竹詰経済政策局長

連合 2016年度における重点政策

①東日本大震災からの復興・再生の着実な推進

- 本格復興に向けた復興事業計画の策定および必要な財源の確保
- 雇用創出事業への支援措置の継続と雇用のミスマッチ解消に向けた就職支援強化
- 被災者の居住環境の改善、独居高齢者の「見守り活動」への支援強化
- 保護者と子どもへの包括的支援のための養護教諭やスクールカウンセラーの配置拡充

②「公平・連帯・納得」の税制改革の実現

- 税による所得再分配機能の強化、所得税の人的控除の見直し
- 消費税の単一税率の維持を前提とした低所得者対策の実施
- 自動車関係諸税の軽減・簡素化と地方における必要な税財源確保

③労働者の健康・安全の確保のための労働時間制度の見直しと労働者保護ルールの堅持・強化

- 特別条項付き36協定締結時の上限時間規制の法定化と「休息时间(勤務間インターバル)規制」の導入
- 解雇の金銭解決制度の導入などの解雇規制の緩和反対
- 過労死問題やいわゆる「ブラック企業」問題等への適切な対処に資する労働行政の充実・強化

④すべての労働者の雇用の安定と職業能力開発の充実・強化

- 労働者派遣法における派遣期間制限の撤廃などの阻止と労働者保護の視点からの法改正の実施
- 雇用形態にかかわらず均等待遇原則の法制化
- 専門実践教育訓練の拡充・強化

⑤女性活躍の推進とワーク・ライフ・バランス社会の早期実現

- 男女雇用機会均等法の実効性確保の徹底
- 「女性活躍新法」にかかる実効性ある省令・指針の整備とポジティブアクションに関する施策の促進
- 仕事と育児・介護の両立に資する育児・介護休業法の改正

⑥「全世代支援型」社会保障制度のさらなる推進

- 財政制約を口実にした社会保障の給付抑制を行わず、質の高い効率的な制度への改革推進
- 医療機関の機能分化、医療と介護の連携強化、看護職員の勤務環境改善の推進
- G P I Fにおける、労使代表等が参画し意志決定する合議制の導入に向けたガバナンス体制の見直し
- 短時間労働者への被用者保険のさらなる適用拡大

⑦格差・貧困の解消に向けた政策の推進

- 子ども・子育て新制度の着実な実施のための、1兆円超程度の財源確保
- 生活困窮者自立支援制度における、国庫補助率拡大などによる任意事業実施自治体の拡大
- 教育の機会均等実現に向け、教育の原則無償化、高等教育における給付型奨学金制度の拡充

国際交流

ミャンマー・カンボジアから訪問団

6月30日(火)にJILAF(国際労働財団)を通じて、ミャンマーから5名、カンボジアから7名の方が来崎されました。それぞれの自己紹介の後、連合長崎の紹介と平和行動・アジアアフリカ支援米・政策制度などの取り組みの説明を行いました。

参加者からは「今まで平和について意識して運動をしたことがなかった」「カンボジアでは最低賃金の取り組みが始まったばかりで、全ての産業に最低賃金が適用されていない」「組合をつくるにも、30人以上の組合員がいないと結成ができない」など、両国の現

状についての報告がありました。民主化とともに労働組合運動もまだまだ始まったばかりである両国ではありますが、参加者の組合運動を引っ張っていこうという熱い思いを感じられました。また、連合長崎にとっては、今まで続けてきた自分たちの活動を外から見るいい機会になったと思います。

他にもハローワーク・長崎労働局・三菱長崎造船所香焼工場等を見学されて、長崎で有意義な3日間を過ごされました。



平和の願いを込めて万灯を作成

7月11日、電気ビル大ホールにおいて、組合員とご家族約80名に参加いただき万灯作成を行いました。万灯作成は、8月9日の万灯流しの準備として、①次世代への継承、②親子のふれあい、を目的に開催をしています。

冒頭、平和学習会として、(公財)長崎平和推進協会 継承部会の永野悦子さんを招き、被爆体験講話を行いました。永野さんは当時16歳、学徒動員として勤務中に被爆され、また弟・妹を原爆で亡くされるという当時の悲惨な体験をお話いただき、「戦争は二度としてはいけない。みんなで平和を守りましょう」と訴えられました。

講話の後、参加者全員で350個の万灯を作成しました。また今年は、長崎市が原爆資料館などに納められた折り鶴を再生紙化する為の作業として「折り鶴解体ボランティア」を行いました。参加者は70Lの袋に入った折り鶴30袋の解体作業を行いました。解体した折り鶴は長崎市に返却し、再生紙化されカレンダー等に使用されます。作成した万灯は、8月9日19時～浦上川(長崎市陸上競技場・長崎市松山町)にて万灯流しを行います。

今年も7月25日の「平和の泉清掃」、8月8日の「連合2015平和ナガサキ集会」と平和行動が続きますが、皆様の積極的な参加をお待ちしております。長崎から平和を発信しましょう。



万灯作成

折鶴解体ボランティア



被爆体験講話をしてくださった永野悦子さん

2015 写真教室～今年は諫早市で開催～



毎年、恒例となっている「写真教室」を、本年は諫早市で開催します。

本年は、従来どおり「実際に写真を撮り、講師(お馴染みの郡山貴三先生)の講評を受けながら写真談義を行う」という内容で開催します。

ぜひ、構成組織の広報担当や写真クラブの方などの技術向上のお役にたてればと思います。初心者の方も大歓迎です。たくさんの参加をお待ちしています。

日 時:2015年9月12日(土) 10時～15時
場 所:諫早市「勤労者福祉会館」
内 容:①写真撮影の基本とテクニック

②写真撮影の実技

③その他

参加資格:連合長崎組合員およびその家族、退職者
参加費:無料

申込み:開催の告知文書は各構成組織・各地協に送付していますので、各構成組織・各地協を経由して連合長崎(担当:増本)まで申し込みをお願いします。

その他:①使用するカメラはデジタルカメラだけ。
②交通機関・宿等の手配は参加者各自で行い、費用も参加者負担。